

「一人一台タブレット端末活用の目的」～GIGAスクール構想を受けて～

* GIGA = Global and Innovation Gateway for All (全ての児童・生徒のための、世界につながる革新的な扉)

1. 教育の質を向上させ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」を実現すること。
2. 緊急時においても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を実現すること。

■ 常時

- ・学校でも家庭でも端末の電源をオフにしない。（アップデートやアプリの配信等が停止してしまうため）
- ・友達同士で端末の貸し借りをしない。
- ・自分のパスワードは他人には教えない。また、勝手にパスワードの変更をしない。
- ・基本的には毎日家庭に持ち帰り、充電した上で学校へ持参する。家庭での使用後や翌朝の起床後にバッテリー残量を確認する。
- ・登下校時や移動教室の際には、落下等による破損から守るためにケースに入れる。
- ・朝、教室に入ったらバッテリー残量を確認する。端末や充電を忘れた際は次ページの対応とする。

■ 授業時

- ・教室内では各時保管することを基本とする。テストなどの際には保管庫に集めてもよい
- ・基本的に全ての授業で使用するので、テストを行うなどの理由で授業にタブレットを用いない場合にはその旨を係の生徒などから伝えるようにする。

■ 休み時間・部活動時

- ・「一人一台タブレット端末活用の目的」に沿った使い方であれば、いつでも使用することができる。
(部活動時には、保管場所・盗難対策・雨天時対応等に気を付ける。)

■ 個人所有物の取扱い

- ・「一人一台タブレット端末活用の目的」に沿った利用に限り以下のものは持ってきててもよい。ただし、必ず記名し、管理は本人の責任とする。

マウス、タッチペン、イヤホン、モバイルバッテリー *左記以外のものについては要相談

- ・貸与されたタブレットには、他の人のタブレットと区別するためのものをつけてもよい。ただし、卒業時や転出時に返却する際には、全て綺麗にとって返却すること。

■ データの保存

- ・基本的には、クラウド上（Google ドライブ、ロイロノート）にデータを保存する。
- ・カメラで撮影をする場合は、「一人一台タブレット端末活用の目的」を踏まえ、教員の指示の下で行う。
- ・個人情報等の取扱いに責任をもつ。
- ・タブレットで得た情報（写真や成果物）をSNS等にアップロードしない。また、USBメモリやSDカード等を使用して、個人のスマホやPC等に移すことは禁止とする。

■ 個人認証

- ・「児童生徒がパスワードを忘れた際」「生徒指導上必要な場合に児童生徒または保護者の承諾を得た上で教師が児童生徒の端末をチェックする際」などに使用するため、学校はパスワードの一覧を保管する。
(管理職・ICT担当は全校生徒分、各学年にその学年のものを1部ずつ)
- ・パスワードは学校側が発行したものから変更をしない。変更する必要がある場合には申し出をし、認められた場合は学校で変更をする。

□ 事前相互確認

- ・初期貸出時（初年度は全員、次年度以降は新入生・転入生のみ）及び故障等による予備端末との交換時は、児童生徒及び保護者が同意書を記入する。

□ インターネットの利用

- ・生徒のGoogleアカウントに対して、業者がフィルタリングを設定する。
- ・生成AIは生徒の実態を鑑みて当面フィルタをかけることとする。
- ・児童生徒同士のトラブルや犯罪被害等を防ぐためメールの送信は不可とする。
(フリーメール等も制限する。Classroom のメッセージ投稿・閲覧、及びGmailシステムメール受信のみ可能)
- ・端末上でウェブページ等の閲覧履歴を消去しても、サーバーに履歴が残る。目的外の使用を避けるためにも、プライベートやシークレットモードは使用しない。
- ・自宅ではWi-Fiを利用しないと使用できない。家庭にWi-Fi環境がない場合には担任に申し出る。
- ・学校及び自宅以外のWi-Fi（フリーWi-Fi等）には接続しない。

□ その他連絡等

- ・Classroomの投稿やロイロノートの送る機能など、他者が関わる使用は午前7時～午後8時までにする。
- ・学校からの連絡は、緊急時を除きできる限りまとめて配信する。
- ・学校からのお便りを閲覧するために、家庭の端末にも生徒のGoogleアカウントでログインできるようにしておくる。Classroomのアプリを利用すると通知が来て閲覧できるようになる。→現状不可

◎端末や充電を忘れたら……

- ・予備機を利用する場合、職員室のタブレット庫に入っているものを利用する。教職員とともに、貸し出し簿に記入をする。
- ・各教室に3本程度アダプタを配付し、充電忘れ端末を充電できるようにする。

◎故障や紛失の場合

- ・故障の場合には修理依頼書を担任の聞き取りの元作成し、学年ICT担当から校内ICT担当へと渡す。
- ・物損保険は加入せず、予備端末との交換で対応する。
(予備端末終了後は端末購入または修理。その都度費用が少額となる方法を選択する。)

◎費用負担について

- ・画面保護フィルムは消耗品のため、学年費で購入し貼付する。タブレット回収時に基本的に返却しない。
- ・フィルムを破損した場合は、個人で購入したフィルムを用いてもよいが、ガラス製でないものとする。
- ・修理や購入は、原則学校予算行うが、家庭での紛失、故意または明らかな過失（ルール外使用）による破損は保護者負担とする。
- ・タブレットケースについては、村の方針で個人購入とする。

*画面の割れや傷については、保護フィルムの有無で負担額が変わることがあります。保護フィルムがはがれてしまった場合には、早めに相談をお願いします。

現在の使用端末

本体

Lenovo 500e Chromebook Gen 4s…8万円程度

内蔵タッチペン

ハードペンシル CWL-500e…600円程度